

AICHI GAKUIN UNIVERSITY NEWSLETTER



AG PRESS

大学だより

2025

3

学位授与を祝して / 卒業生へ贈る言葉
就職活動体験記 / AG NEWS FILE / 後援会レポート

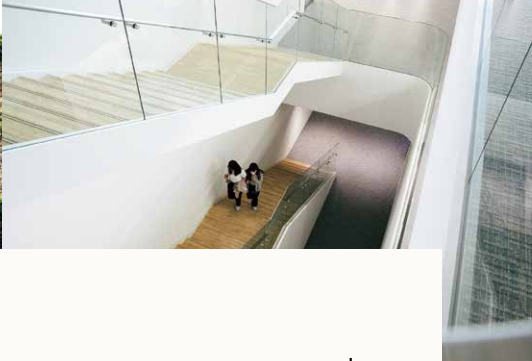
vol.229

〔特集〕 その時、命を守る
災害に強い
大学づくり



2026年、愛知学院は創立150年を迎えます。

location: インテリジェンスキューブ 前(名城公園キャンパス)



令和6年度

学位授与を祝して

百尺竿頭一步を進む

— 素晴らしき未来に向けて —



愛知学院大学 学長
愛知学院大学短期大学部 学長

木村 文輝

卒業はスタートライン
新しい舞台で大いに活躍を

「百尺竿頭一步を進む」という禅の言葉があります。百尺、すなわち、約三〇メートルの竿の先端まで上った者に、「もう一步進め」という声がかけられたとします。さあ、どうしたらいいでしょうか。本当に一步を進めたら、真つ逆さまに落ちてしまいます。そこで、伝統的解釈とは多少異なりますが、私はこんなふうに考えています。オリンピックで金メダルをとった選手が、いつまでもその余韻に浸って何もしなければ、次の試合に勝つことはできません。あるいは、どんなに優れた選手でも、やがて引退の時を迎えます。竿の先端を極めた者も、いずれはその竿から下りて、次の舞台に挑戦しなければなりません。いつまでもそこにとどまっている

ことはできないのです。この度、大学を卒業される皆さんは、大学という一つの竿の先端まで上りつめました。しかし、それですべてが終わるわけではありません。むしろ、皆さんは新しいスタートラインに立つのです。大学で身につけた知識と経験を活かして、新しい舞台で大いに活躍してください。

いま、ウクライナやガザでは、人々の生命を脅かす紛争が続いています。どちらが悪で、どちらが善か。立場によって見方は変わるかもしれませんが、けれども、そこに共通するのは、神に従う者は善であり、それに背く者は悪であるというように、善悪を明確に区別する一神教の視点です。それに対して、仏教では絶対的な善や悪はありません。他者に席を譲ることは一般には善だと言われますが、座りたくない人に席を押し付けることは悪になるかもしれません。立場と状況に応じて善悪は揺れ動く。それ故に、私たちは常に自らの判断が、その場における善か悪かを考えなければなりません。

考えながら行動し、行動しながら学び続ける。同時に、自らの存在は他者に支えられていることを自覚しながら、自らも他者を支えることを目指し続ける。これが「行学一体」「報恩感謝」という本学の建学の精神です。学生時代にはその意味を理解できなかった方も、社会に出ればその重要性を実感することになるでしょう。その時に、改めて愛知学院大学の卒業生であることに誇りと自信を抱いてほしいと思います。そして、本学がいつまでも皆さんの大切な母校であり続けるために、これからは卒業生として愛知学院大学を応援していただきたいと思います。ご卒業、おめでとう。そして、皆さんが素晴らしき未来に向けて、力強い一步を踏み出されることを祈念いたします。



解き放て可能性 打ち破れ 自分の殻

皆さん、ご卒業おめでとうございます。
これまで支えてこられた保護者の皆様、御同慶に堪えません。大学での学業生活は、専門知識を学び社会での活躍のため大いに可能性を拡げてこられたものと思います。

生成AIの驚異的な発達、SNS上での偽情報の氾濫等といった社会の現状において、これからは、どの仕事に就いてもしっかりと情報リテラシーが求められます。これまでの生活の中で、周囲からの評価や自分の思い込みで作った殻の中に閉じ籠ったままでは、対応が困難になるでしょう。しかし、無限の可能性を信じて自分の殻を打ち破っていけば、大いに飛躍して心豊かな社会人となられるはずです。

そのことを期待、また祈念して、お祝いの言葉といたします。



学校法人愛知学院 理事長

龍谷 顯孝

「友」は財産 全国に15万人の同窓生

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも、すべての同窓会、同窓生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

学生の皆さんは、厳しい環境を乗り越えて社会に第一歩を踏み出そうとしています。卒業とは終わりではなく、次へのスタート。「行学一体」「報恩感謝」の理念を忘れず、今後も自己啓発に努め自らの力で人生を切り開いていってください。本学での学びを通して、人々を思いやる「こころ」にも目を向けられたと思います。楽しかったこと、苦しかったこと、すべての思い出に「友」が出てくるでしょう。生を共に語り合える友人は、あなたにとって大切な財産です。心強い同窓生は全国に15万人もいて、社会の先輩として見守つてくれます。これからもより一層の努力をされ、大海の大波、小波を力強く乗り越えていかれることを期待します。



愛知学院大学同窓会連絡協議会議長
法学部同窓会会長

中津 範明

輝かしい未来に向けて 旅立つ皆さんへ

卒業生の皆様、これまで支えてこられたご家族、関係者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこれから、社会人という立場で新しいスタートを切ります。出身大学や成績は、これからはあまり関係ありません。小さいながらも会社を経営している立場から言わせていただくと、慢心した経験者より、経験がなくてもやる気がある人の方が間違いなく役に立ってくれます。大切なことは、何かを学ぼうとする姿勢と、自分が成長する機会を常にうかがい前向きに取り組むことだと思います。

もしかしら、これからの毎日は単調に思えるかもしれません。でも、流されてただ何となく生きるのではなく、毎日、自分なりにワクワクできることを見つけて、頑張ってください。皆様方ますますのご活躍と、未来が輝かしいものになることを祈念して、お祝いの言葉といたします。



愛知学院大学後援会 会長

浅田 浩司



何気ない日常にある喜び

伊藤 雅之

皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ感染拡大への警戒が続く状況で始まった大学生活。マスク着用やソーシャルディスタンスなど、新しい友人を作りづらい学生生活だったと思います。こうした困難な状況の中で培われた柔軟性や忍耐力は今後の人生の糧となることでしょう。先行きが見通せないときこそ、何気ない日常にある喜びを見つけ、味わい、分かち合う大切さに気づくチャンスなのだと思います。大学時代の経験を糧として、社会人としてのさらなる飛躍を心から祈念しております。

卒業生へ贈る言葉

Message to Graduate



皆さんの可能性は無限

杉浦 春雄

ご卒業、誠におめでとうございます。学生生活を振り返ると、多くの学びや経験、仲間との絆があったでしょう。そのすべてが、皆さんのこれからの人生を支える貴重な財産。愛知学院大学で過ごした日々は、皆さんが自ら築き上げた努力と成長の証です。どんな小さな一歩でも恐れずに踏み出し、新しい未来を切り拓いてください。皆さんの可能性は無限です。自分らしさを大切にしながら、力強く進んでいかれることを心より願っています。改めて、卒業おめでとうございます。未来に向けての健闘を祈っています。



意味を見つける

高木 浩人

皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから社会でさまざまなことに携わります。その際、そこに意味を見つけることを試みてください。面白くなくても、自分がこれをやることで誰かが助かっているのではないか、何かが自分の身についているのではないか、思い出話のネタにはなるか等々。同じことをしていても、そこに意味を見つけることができれば、俄然やる気も楽しさも変わってきます。意味を見つけるための素養は、心理学科での学びで身につけています。心配ありません。ご健康を祈ります。



自分を信じて行動しよう

古澤 和行

ご卒業おめでとうございます。卒業後は、それぞれ自分が決めた進路に向かっていくことになりますが、時にその道の途中で、迷ったり悩んだりすることもあるかと思います。そんな時は少し休むことも大切です。疲れた時には休んでください。しかし、ずっと立ち止まっていたはいけません。愛知学院大学を卒業した自分を信じて行動してください。行動することで、自分の考えが整理できたり、問題解決のきっかけができたり、新たな出会いがあったりして、必ず道はひらけます。今後のご活躍を祈念しております。



「自ら考える力」を生かそう

吉田 聡

これから社会人になるにあたって不安に感じている人や、大学で学んだ専門分野とは異なる世界で生きていく人もいることでしょう。皆さんは大学では授業やゼミなどを通して、専門知識だけでなくその場に応じた「自ら考える力」を身につけてきました。たとえ進む分野が異なっても、「自ら考える力」で、いろいろ困難を乗り越えることができます。そんな能力をぜひ発揮してください。ご卒業おめでとうございます。しかし健康第一。健康には十分に気をつけてご活躍ください。



「砂金」

飯野 賢一

太宰治の小説『正義と微笑』の中で、ある先生が「学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ」と述べています。大学で学んだ知識を忘れても、報告や議論、レポート作成、試験勉強など試行錯誤しながら学んだ経験は、これからの人生でずっと生きてきます。あなたが手に入れた「砂金」を生かして、「真にカルチベートされた人間」になってください。



「Z世代」の皆さんへ

吉田 雅彦

ご卒業おめでとうございます。義務教育からの長い学業生活から解放され、愁眉を開いていることでしょう。皆さんは「さとり世代」とか「Z世代」と呼ばれているようです。先の世代は後の世代に半量を入れたがるものです。しかし、いつの時代もさまざまな分野で世界的な成果を残す人が一定数います。決して先の世代が優越しているわけではありません。大切なことは、それを発揮しやすい「社会的方程式」を作ることだ、と私は思います。自分の能力を信じて、社会人として邁進してください。ご活躍を期待します。

各学部の先生方から卒業生へのメッセージです。

薬学部長



未来を拓く 薬のプロフェッショナルへ

安池 修之

ご卒業おめでとうございます。在学中は喜びにあふれる瞬間もあれば、困難に直面する場面も多くあったことと思います。皆さんはそれら乗り越え、大きく成長しました。薬学部で培った知識・技能・態度、そして仲間との深い絆は、これからの新たなステージで必ず力になることでしょう。これまでの学びと経験を胸に、社会での挑戦に向けて自信と勇気を持ち、力強く歩んでください。医療をはじめ、社会の環境は急速に変化し続けています。皆さんが変化に柔軟に対応し、創造力と専門性を発揮して、社会に貢献することを心から期待しています。

総合政策学部長



夢に向かって粘り強く!

杉山 知子

ご卒業おめでとうございます。「行学一体」「報恩感謝」の建学の精神のもと、総合政策学部での仲間たちとの学びを糧に、社会人として自分の道を歩んでいってください。私たちを取り巻く環境は日々変化しています。これまでのさまざまな経験は、知恵と勇気となり、皆さんの成長を助け、人生を豊かにすることでしょう。自分の夢に向かって粘り強く進んでいってください。そして、母校が皆さんにいつでも開かれていることを覚えておいてください。ご卒業の門出を祝い、ご健康と社会でのご活躍を祈念します。

歯科衛生学科長



人々を幸せにする 歯科衛生士に

犬飼 順子

ご卒業おめでとうございます。本学は歯科衛生士になるためのプログラムが満載で、多忙な学生生活でした。特に3年生の秋学期は国家試験に向けて勉強漬けの毎日でしたが、仲間とともに同じ目標に向かう一体感は、人生で忘れられない場面となることでしょう。皆さんのこれまでの勉強は自分自身のためだけではありません。皆さんの得た知識・技術が、口腔の健康を通して人々の幸せにつながります。皆さんがこれからも研鑽を重ね、多くの人々の幸せに貢献することを期待しています。

歯学部長



科学的思考を持った 歯科医師を目指せ!

本田 雅規

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、科学的思考を持つ歯科医師になってください。「天才は1を聞けば10を知る」と言われますが、何もない状態で1から9は生まれません。皆さんに当てはめると、国家試験のために学んだことが、今は使い物になっていないかもしれません。しかし、もうひとつ「1」を学ぶことで理解のきっかけを見つけ、「10」の知識にまといまいます。いつか必ず役立つと信じて、今後でもできるだけ多くを学んでください。豊かな人間性と高い倫理観を持ち、福祉と健康に貢献できる素晴らしい歯科医師になるでしょう。

一令和6年度一表彰者

●管長賞

●学長賞

歯科衛生学科	伊藤 尚輝	●管長賞	●学長賞	三浦 杏花莉
宗教学科	矢野 夢奈			堀田 紗希
歴史学科	小吹 悠			
英語英米文化学科	宮本 奈知			
日本文化学科	センタム 詩音			
グローバル英語学科	川淵 真衣			
心理学科	片山 萌			
健康科学科	黒崎 愛絵			
健康栄養学科	八重 伽羅			
商学科	武藤 梨歩			
経済学科	光山 穂香			
法学科	洞口 美海			
現代社会学科	佐藤 楓花			
総合政策学科	本田 玲奈			
医療薬学科	柴田 玲奈			
歯学	服部 理子			
歯科衛生学科	玉川 由理子			
●初代学長小出有三賞				
宗教学科	本庄 亜有			
歴史学科	倉田 亜耶			
英語英米文化学科	藤本 琴音			
日本文化学科	岡村 明音			
グローバル英語学科	来田 瑠梨			
心理学科	武富 菜名			
健康科学科	下堂 奈緒			
健康栄養学科	後藤 優里			
商学科	水元 菜			
経済学科	栗本 茜			
法学科	坂野 平			
現代社会学科	熊谷 風翔			
総合政策学科	竹内 明日香			
医療薬学科	林 あり			
歯科衛生学科	各務 絢香			
●学長賞				
宗教学科	滝井 七海			
歴史学科	川谷 涼真			
英語英米文化学科	岩田 紗弓			
日本文化学科	谷川 陽愛			
グローバル英語学科	長瀬 心温			
心理学科	池口 彩花			
健康科学科	青井 遥香			
健康栄養学科	鈴木 夏陽			
商学科	森本 美緒			
経済学科	安達 茉莉			
法学科	高見 屋			
現代社会学科	吉田 啓人			
総合政策学科	加藤 諒大			
医療薬学科	黒柳 大希			
歯学	松原 圭依			
歯科衛生学科	平岩 由衣			
歯科衛生学科	渡邊 千花			
●医療薬学科 臨床実務実習優秀賞				
山田 乃愛	宮下 美佳			
久野 愛梨				
加藤 麻衣菜				
●歯学科臨床実習優秀賞				
土居 南美	神出 真臣			
坂田 幸久	渡辺 法仁			
原田 萌里				

就職活動体験記

今春、社会人としてスタートする学生に就職活動を振り返ってもらいました。

心身科学部

(現:健康科学部)



キャリアセンターの親身な
サポートが支えになった

中尾 果威斗

内定先 株式会社フジトランスコーポレーション

入学してよかったのは、学びを楽しめる人になれたこと。心理学は奥深い学問で、学べば学ぶほど面白くなりました。授業やゼミ研究で身につけた論理的思考や分析力は、企業でも生かせると思います。愛知学院大学は、就活セミナーや学内の企業説明会など、就活支援のイベントが充実しています。また、面接指導、エントリーシートや履歴書の添削など、キャリアセンターのサポートも手厚いのが特徴です。別学部を担当の方も親身に対応してくれて、何度か相談しただけで顔と名前を覚えてくれるなど、とても頼りになりました。就職先は、名古屋港を中心とした国際物流企業。将来の海外配属も楽しみです。

文学部



海外語学研修や資格取得を
就活の強みにできた

高橋 ひまり

内定先 トヨタ紡織株式会社

愛知学院大学は学生数が多く、周囲の刺激を受けて興味ある分野を見つけ、自分の強みを身につけられる環境です。私も、英検、MOS、FP、化粧品検定、色彩検定、マナー検定など、自分の興味とリンクする資格取得に取り組み、就職活動の強みにしました。また在学中は、海外語学研修にも挑戦。オーストラリアに滞在した経験は、英語力だけでなく、情報収集力やコミュニケーション能力の向上につながりました。内定先は、海外拠点が多く、海外トレーニー制度を導入している企業。大学の英語の講義で学んだことや語学研修の経験を生かして若手のうちから海外で活躍し、多様な価値観を身につけたいと考えています。

経営学部



企業目線で経営について語れる
知識が身についた

武藤 梨歩

内定先 ヤマハ株式会社

大学で経営学を学び、身近な店舗や企業のしくみ、商品やプロモーションの裏側が推測できるようになり、多角的な視点を獲得。「マーケティング戦略論」や「国際マーケティング論」で学んだことは仕事でも役立つだろうし、「企画論」「事業計画論」のケーススタディなどで、より高次元で経営について考える知識の習得につながりました。就活では、インターンシップや面接の場で企業の方と同じ目線で経営・マーケティングについて深く語り合うことができ、自分のスキルや熱意を強くアピールできました。授業で学んだ内容をヤマハのインターンシップで活用したことが、内定獲得の一因になったと思います。

商学部



簿記や会計の知識・資格が
就職活動の大きな強みに

岡田 颯汰

内定先 井村屋グループ株式会社

当初は将来について明確な目標はありませんでしたが、大学で学ぶうちにやりたいことが見つかりました。ゼミでフードロスについて研究し、より食品の大切さを感じるようになったことから、食品メーカーを志望。地元に貢献したいという思いも強く、三重県を拠点にする菓子メーカーを選択しました。就活に役立ったのは、授業で身につけた簿記や会計の知識と日商簿記検定2級の資格。自分の強みとして選考でアピールできましたし、財務表に関する知識は企業研究にも生かせたと思います。エントリーシートの丁寧な添削、本番さながらの模擬面接など、キャリアセンターの支援も大きな助けになりました。

法学部



定期的な就職ガイダンスを通し
就活の進め方を知れた

太田 結菜

内定先 株式会社百五銀行

地域の方や企業の力になり地元の発展に貢献したいと考え、三重県内で圧倒的な信頼を得ている銀行を志望。インターンシップに参加し、ワークを通してより具体的に業務内容や社内の雰囲気をつかみ、自身の将来像を明確にイメージできたことも選択の決め手になりました。就活で役立ったのは就職ガイダンス。定期的開催されるため就活の進め方を段階的に知ることができました。キャリアセンターでは、エントリーシートの添削や面接対策を志望する企業に合わせてサポートしてくれるため、とても力になりました。会社法、商取引法、保険法など、授業で学んだことも、今後の銀行業務で生かせると思います。

経済学部



学生による出版プロジェクトの
経験が、強力な「ガクチカ」に

高野 達広

内定先 松竹株式会社

クリエイティブな仕事がしたいと考え、エンタメ業界を志望。就職活動で強みになったのは、「道標プロジェクト」。愛知学院大学の学生たちによる冊子制作のプロジェクトで、取材や記事の執筆、誌面デザインまですべて自分たちでおこなっていました。その経験談を話すと、面接官の反応もよかったです。私が志望する業界を目指す学生が少なく、就活当初は的確なサポートが受けられるか不安でした。でも、キャリアセンターの面接指導や親身なメンタルサポートのおかげで、乗り切れたと思います。結果的に、映画会社の御三家と呼ばれるうちの一家の内定を獲得。興行収入100億円を超える映画を作るのが目標です。

卒業生の主な就職内定先

一覧はホームページをご覧ください▶

<https://navi.agu.ac.jp/career/naitei/>



公務員・教員に内定

国家公務員



公務員試験に特化したサポートが魅力の「公務員講座」

坂 風翔 法学部 法律学科

内定先 裁判所事務官

検察官や弁護士との書類のやりとり、改訂前の法廷準備、裁判員の方の接遇などをおこなう、裁判所事務官。大学の公務員講座を通してこの職種を知り、志望しました。職種や仕事内容、最新情報を知ることが具体的な目標設定につながるため、公務員を目指す人にはおすすめです。また講座では、エントリーシートの添削、模擬面接のほか、カウンセリングも受けられます。専門家に直接相談して疑問や不安を解消できるほか、公務員試験に特化したアドバイスがもらえるため、心強かったです。試験対策の基礎になったのは、法学部での学び。身についた法的思考能力も、面接での質疑応答の助けになったと思います。

地方公務員



きめ細かく丁寧な指導で苦手だった面接を克服

鈴木 一色 心身科学部(現:健康科学部) 健康科学科

内定先 名古屋市役所

臨床医学からスポーツ医学まで幅広く学べる心身科学部健康科学科。救急救命士を目指していた私にとって、学びの内容と将来像がマッチしていることから、入学を決めました。公務員試験対策としては、2年次から4年次にかけて公務員講座を受講。また、毎日のようにキャリアセンターで面接練習をおこないました。細かいところまで指導してくれたので、苦手だった面接も克服できたと思います。最終的には、多種多様な部署で仕事ができる市役所を志望。中でも、職員の数が多くさまざまな人と関わりながら大都市を支えることができる、名古屋市役所を選択しました。早く仕事を覚え、市民の皆さんに貢献したいです。

教員



模擬授業などを通して教員としての基礎を養えた

今井 凜 文学部 歴史学科

内定先 長野県教育委員会(高校教諭)

子どもたちに社会を学ぶ楽しさ・深さを伝えたいと思い、社会科教員を志望。大学で身につけたスキルはたくさんありますが、特に多くの実りがあったのは「社会科指導法」の授業です。模擬授業やグループワークなどを通して授業の進め方を実践的に学べたほか、歴史とは何か、歴史を教えることの意義など、教員としての基礎を身につけることができました。それらを教育実習で実践し、現場力を養うことができたと思います。教員試験対策で頼りにしたのは、教職支援センター。特に、丁寧な面接指導が、試験本番で役立ちました。今後は、生徒一人ひとりにまっすぐ全力で向き合える教員になることを目指します。

総合政策学部



進路相談だけでなく、不安や悩みにも寄り添ってくれたキャリアセンター

田中 翔大

内定先 東海旅客鉄道株式会社

総合政策学部では、複数の学問分野の授業を受講できます。自分の興味に関連する授業を中心にカリキュラムを組むことで理解が深まり、ゼミの研究分野も自信を持って選択できました。また、グループワークや少人数での授業を通し、ディスカッションのスキルも体得できたと思います。卒業後の進路として志望したのは、鉄道会社。業界・企業研究を進める中で、人々の“当たり前”を支える仕事がしたいと考えたからです。就職活動では、キャリアセンターの方が些細な不安や悩みも親身に聞いてくださり、大きな支えになりました。今後は、鉄道運行を支える一員として、安全・安定輸送に貢献していきたいです。

薬学部



病院実習をきっかけにMR職の重要性を知った

原 慶市朗

内定先 グラクソ・スミスクライン株式会社

薬を使って、病気を抱える人の手助けをしたい。そんな目標を叶えるため、薬学部を選択しました。製薬会社のMR職を目指すようになったのは、病院実習がきっかけです。次々に開発される新しい薬や特殊な使用方法などの情報が現場に届いていない状況を知り、適切な医療情報提供の重要性を実感したのです。就職活動で重視したのも、最新情報の収集。インターンシップへの参加、OB訪問など、積極的に行動しました。そんな活動の支えになったのは、6年間、共に学んだり、部活動で一緒に汗を流したりした仲間たちの存在です。また、学部の先生方にもサポートいただき、志望する製薬メーカーの内定を獲得できました。

短期大学部



歯学部附属病院の実習で実践力を養えた

山崎 ひなた

内定先 やまむら総合歯科・矯正歯科

愛知学院大学には歯学部附属病院があり、口腔外科や矯正歯科など、さまざまな歯科医療の現場で実際に働く歯科衛生士と実習ができます。将来、歯科クリニックで働くことを見据え、実践的な臨床実習がしたいと考えていた私にとって、理想的な学びの環境でした。実際、1年間の臨床実習で患者さんの対応や診療補助を経験し、実践力を養えたと思います。また、毎日たくさんの患者さんと接することで、歯科衛生士として不可欠なコミュニケーション能力も向上できたと思います。就職活動では、キャリアセンターで情報収集。多くの資料や求人票を比較検討し、自分に合ったクリニックを見つけることができました。



その時、命を守る



特集

AG vol.29
REPORT

災害に強い 大学づくり

本学は約11,000人の学生が4つのキャンパスで学んでいます。今後、発生が危惧される南海トラフ地震をはじめとした災害時に大切な命を守るため、日頃より学生の安全を第一に考え、防災対策に取り組んでいます。

part 1

全体の取り組み

いざという時に備える訓練や講習など、
全学的に災害時の学生サポート強化に努めています。

避難訓練の実施



日進

地震発生を想定した建物内でのシェイクアウトと安否確認訓練の後、火災が発生した想定で安全な場所へ移動する避難訓練を実施

南海トラフ地震を想定した訓練。学生が多い曜日・時間帯を選び、多人数が避難する状況を再現し、誘導方法や安全確保を確認した



名城公園



楠元

火災発生を想定した訓練では、学生は教員の先導でグラウンドに移動。避難場所としてほかに駐車場等も活用し安全を確保します



末盛

歯学部附属病院西館で夜間の火災発生を想定した避難訓練を実施

自衛消防組織

二次被害を防ぐために、初期対応は本学職員を中心とした自衛消防組織が担います。組織は、本部隊と地区隊に分かれ、通報連絡、初期消火、避難誘導、安全防護、応急救護の各班が連携して活動。定期的な訓練を通して、災害対応力を高めています。

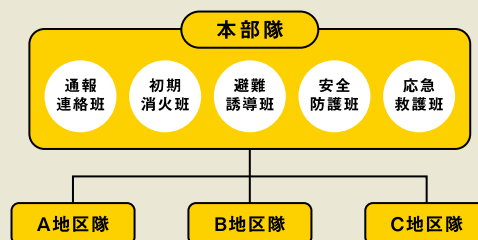


尾三消防本部 日進消防署のご協力による講習会



初期消火訓練

自衛消防組織のイメージ



※全地区隊に本部隊同様の班を設置

日進キャンパス

Campus
Profile

学生5,000名 教職員800名
【設置学部】文学部／心理学部／健康科学部／総合政策学部／薬学部(1年次)



東京ドーム11個分に相当する約50万㎡とゆとりある日進キャンパスでは、多くの学生が学んでいます。しかし、その広大さゆえに、避難場所までの距離や避難経路の安全確保などは重要な課題です。学生がどこにいても迅速に避難や安全確保ができるよう、防災の強化に努めています。

pick up 広大なキャンパスでの災害を想定した対策

救助用品を校舎内、食堂、スポーツセンター、駐車場など複数箇所に設置するほか、備蓄品、電気も確保。自家発電した電気は避難スペースの照明などに活用します。



キャンパス内にある災害救助用品



3日分の食料と水、毛布など4,000人分を想定した備蓄品を保管する防災倉庫



ガスで発電する停電対応型CGS設備

名城公園キャンパス

Campus
Profile

学生5,000名 教職員170名
【設置学部】商学部／経営学部／経済学部／法学部



2014年開設で建物の耐震性が高い名城公園キャンパスは、地震発生時は原則として建物内で待機することで、学生の安全を確保します。交通の便が良く、多くの学生が遠方から通学しており、交通機関がストップした場合の帰宅困難が懸念されます。そのため、災害時にも学生が安心して過ごせるキャンパスづくりに取り組んでいます。

pick up 停電・断水時にも対応可能な自立機能



蓄電設備



太陽光発電



CGS設備



ディーゼル発電設備

太陽光発電+蓄電池、停電時にも発電可能なガスヒートポンプ空調機、ディーゼル発電機など、複数の発電方式を組み合わせることで災害時におけるリスクを分散し、電力供給の自立性を高めています。井戸や雨水貯留槽を備えており、飲用以外の生活用水も確保しています。

末盛キャンパス

Campus
Profile

学生650名 教職員657名
【設置学部】歯学部(5-6年次)／短期大学部(2-3年次)

pick up

学びと医療を支える
自立機能設備

歯学部5、6年生が学ぶ臨床教育研究棟と歯学部附属病院からなる末盛キャンパス。医療機関としての役割を担うため、学生・職員用に加えて入院患者向けに7日分の備蓄をしています。現在進行中のキャンパス再整備では、スペースを確保して備蓄を強化する予定です。



自家発電機

楠元
キャンパス

Campus Profile

学生1,800名 教職員500名
【設置学部】薬学部(1-6年次)／歯学部(1-4年次)
短期大学部(1-3年次)／歯科技工専門学校(1-2年次)



学生が集まる本山エリアにあり、住宅地に位置する楠元キャンパス。名古屋市指定避難所のため、一時的に学外から避難者が増える可能性があります。こうした状況を踏まえ、学生の安全を第一とした避難経路の定期点検、備蓄品や避難場所の確保などをおこなっています。

pick up

学生の安全と研究を守る、
非常用電源

停電時にはバッテリー発電機から避難経路の照明や研究室など、重要箇所に優先的に電力を供給。学生の安全を確保し、貴重な研究資料の損傷を防ぎます。



災害用備蓄について

各キャンパスには学生が1〜3日程度過ごせる食料や資機材を備蓄しています。備蓄品は定期的に新しいものと交換するほか、食物アレルギーへの対応など備蓄品の見直しもおこなっています。

おもな備蓄品

乾パン・ビスケット・長期保存水・救急用品・生理用品・テント・防寒用毛布・簡易トイレ、歯磨きシート等

約8万ℓの水を供給可能な
自水槽タンク(末盛)多様な食ニーズに
配慮した防災食

小麦等のアレルギーに対応、そのまま食べられるご飯(楠元)

留学生にも配慮したハラール対応の米粉クッキー(日進)



TOPICS

02

「第33回楠元祭」を開催

2024年10月18日(金)、愛知学院大学楠元キャンパスにて「第33回楠元祭」を開催しました。今年のテーマは「絆」。薬学部・歯学部、短期大学部、歯科技工専門学校といった、異なる医療系学部・学校の学生同士が学びの場を超えた「絆」を築くことを目的として、模擬店やクラブ発表、その他学生同士が「交流」できる企画を多数実施し、キャンパス全体が一体となるイベントとなりました。開催にあたりご支援を賜りました愛知学院大学後援会、協賛企業や医院、個人の皆様に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



TOPICS

01

令和6年度クラブ優勝祝賀会がおこなわれました

1月8日(水)、日進キャンパスけやきテラス2階において、大学後援会主催の令和6年度クラブ優勝祝賀会が開催されました。今年度は、昨年4月からこれまでの活動において特に顕著な成績を上げた20クラブと個人77名を表彰。その成績を称えて、表彰状と記念品が贈られました。祝賀会では、受賞者への祝福と共に、これまでの努力とクラブの発展を祝う温かな雰囲気、浅田浩司大学後援会会長、木村文輝学長、田中淳子学生部長から激励と労いの言葉をいただきました。また、クラブ学生を代表して硬式庭球部 大矢祥生さん(経済学部経済学科4年)から謝辞がありました。祝賀会の最後には、「和太鼓クラブAGU丸座」の皆さんの協力により、迫力のある演舞で会場を盛り上げていただき、盛大な雰囲気の中で無事に終了しました。クラブ学生の皆さん、おめでとうございます。来年度も、益々のご活躍を期待しています。



TOPICS

04

第51回全日本学生パワーリフティング選手権大会
男子120kg超級で本学が2位入賞！

(左から2番目)今泉壮太郎さん

2024年11月16日(土)、11月17日(日)に岡山大学第二体育館(岡山県岡山市)にて「文部科学大臣杯争奪 第51回全日本学生パワーリフティング選手権大会」が開催されました。パワーリフティング競技は、「スクワット(SQ)」「ベンチプレス(BP)」「デッドリフト(DL)」の3種目で合計挙上重量を競うスポーツです。全国屈指の大学生パワーリフターの中から各階級のNo.1を決定する大会に、本学ウェイトトレーニング部から5名が出場。中でも、男子120kg超級の今泉壮太郎さんは自己ベストとなるトータル重量660kg(SQ 280kg、BP 145kg、DL 235kg)を挙げ、個人戦で昨年の成績3位を上回る2位(準優勝)を獲得しました。

TOPICS

03

2024年度教育優秀賞の表彰式を実施しました

2024年12月4日(水)、日進キャンパスにおいて「2024年度教育優秀賞」の表彰式を執りおこなわれました。教育優秀賞は、教育活動において優れた業績を表彰し、本学の教育のさらなる充実を図ることを目的としています。第4回目となる今回は、以下の4名の教員が受賞しました。



(左から)稲垣教授、白木講師、大角講師、小林教授

文学部(宗教文化学科) 小林奈央子教授 PBL(課題探究型学習)を導入し、学生がグループで自主的に研究を進める教育方法を実践。2022年からは、伊勢国際宗教教養フォーラムの年次大会において学生が研究発表し毎年受賞するなど、高い評価を得ています。

法学部 大角洋平講師 教育改善の一環として、最新のデジタルツールやAIを活用した取り組みを推進。ChatGPTによる学びの効率化と質の向上、Worldのアウトライン機能を活用した文章作成スキルの養成などを通して、学生の主体的な学びを促進しました。

教養部 白木優馬講師 学生の学習意欲を高めるため、ボードゲームを活用。テーマに関する知識の主体的な探究や深い理解を促すとともにグループワークを重視する教育法が、創造的思考力や協働スキルの醸成に効果的だと評価されました。

短期大学部 稲垣幸司教授 歯周病専門医として、学生の意見を反映した授業改善や脱タバコ教育を推進。歯周病科の臨床実習では学生が自らの口腔や歯周組織を教材として、口腔清掃習慣の見直しなどに取り組み、実践力を高める機会として評価されました。

TOPICS

06

世界最大規模ビジネスコンテストの学内予選
「Hult Prize On-Campus Program」を開催

1月9日(木)、「Hult Prize」の学内予選大会「On-Campus Program」を東海地区で初めて開催しました。「Hult Prize」は、毎年20万人の学生が参加する世界最大規模のビジネスコンテスト。8チーム、32名が参加し、ビジネスアイデアを競いました。混戦を制して見事優勝したのは、村松若人さん(経営学部1年)がリーダーを務める「ToLog(リップスログ)」チーム。AIを活用した読唇サービスの提案が評価され、世界大会予選進出が決まりました。世界に挑戦した経験は必ず将来の糧になるはず。皆さんのさらなる活躍に期待します。

【優勝】「ToLog」チーム／AIを活用した読唇サービスの提案
【準優勝】「SWT」事業開発部チーム／地下鉄の風力活用の提案
【3位】「マリステラ」チーム／海洋プラスチックの再利用提案



TOPICS

05

ユニバーサルデザインとバリアフリーへの理解を
促す産官学協働イベントを学生が企画運営

2024年12月6日(金)、日進市のプライムツリー赤池にて、バリアフリーやユニバーサルデザインを学ぶ産官学協働イベント「サントラを助けよう！〜かくれたバリアフリー〜」を開催しました。企画運営を手掛けたのは、本学総合政策学部鈴木ゼミの3年生16人。日頃から、ジェンダーや格差などの社会問題について学んでいます。今回は、主に小中学生を対象として、スタンブラリーやクイズを実施。館内のエスカレーターやバリアフリートイレなどを巡りながら、バリアフリーやユニバーサルデザインについて楽しく学べる機会を提供しました。また、愛知淑徳大学、名古屋学芸大学の学生たちも参加。それぞれの専門分野を生かして調査・作成したパネル展示もおこなわれました。



TOPICS

08

成道会・涅槃会の法要を挙行

2024年12月6日(金)に成道会、2025年2月14日(金)に涅槃会が3キャンパスそれぞれで挙行され、教職員をはじめとする関係者が参加しました。

日進キャンパスでは法要後に導師を務められた木村学長による法話がおこなわれました。成道会とはお釈迦様がお悟を開かれたことをお祝いする日であり、涅槃会とはお釈迦様がお亡くなりになられた日です。曹洞宗の宗門関係大学である本学では、年に5回(降誕会、両祖忌、達磨忌、成道会、涅槃会)法要をおこなっています。

次回はお釈迦様の誕生をお祝いする降誕会を4月8日(火)に実施します。



TOPICS

07

第77回 秩父宮賜杯

全日本バレーボール大学男子選手権大会

ミキブルーンスパーカレッジバレー2024にて
ベスト8の成績を収めました

2024年11月26日(火)〜12月1日(日)、「第77回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会ミキブルーンスパーカレッジバレー2024」が開催されました。全国から64チームが出場し、トーナメント方式で優勝を争う全日本インカレ。愛知学院大学は、初戦で仙台大にセットカウント3-2で勝利すると、2回戦で明治学院大学を3-2、3回戦では東海大学を3-1で制して順調に勝ち進み、西日本インカレ王者の実力を示しました。そして大会4日目の11月29日(金)船橋アリーナでの準々決勝では、ベスト4進出を賭けて強豪・近畿大学を相手に善戦するも、力及ばず敗退。しかし全国ベスト8という好成績を残し、シーズンを締めくくりました。今後とも、男子バレーボール部へのご声援をよろしく願っています。



後援会
レポート

大学後援会は、学生の教育について大学と家庭が連携し、より良い教育を目指すために昭和28年の大学創立と同時に発足しました。「親子入学」と称して後援会を組織し、会員皆様のご子女の学生生活を支援するさまざまな活動をおこなっています。今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

各キャンパスで100円朝食・200円夕食を提供



2018年度から大学後援会の助成により特別価格にて食事を提供しています。楠元キャンパスでは、12月から1月にかけて30日間、国家試験に向けて勉学に励む歯学部・薬学部・短期大学部の学生を対象に、日替わりプチデザート付き200円夕食を提供。また、日進キャンパス・名城公園キャンパスでは5月、11月の24日間、「朝食を食べる習慣」を身につけられるよう100円モーニングを提供しました。和定食、モーニングカレー、トーストなど、多くの学生の皆さんに利用していただきました。3キャンパス合計約5000食分の提供となり、大盛況のまま終わることができました。来年度以降も学生の朝食・夕食のサポートをおこなう予定です。

学生支援事業について

本学の社会・地域連携活動「シャチ活」に助成

北海道厚沢部町の地域課題に取り組む体験学修プログラムを実施。現地で農作業などを体験した後、愛知に戻り、学生が企画した「あっさぶショップ」「あっさぶ弁当」の実現に取り組みました。今年度は、厚沢部町の役場・農家の方が愛知を訪問。「Assabu Marche」の開催、シーハウス三河の試合会場での弁当販売などで、厚沢部町をPRしました。



シャチ活とは

社会活動の『シャ』、地域連携そして「知」の『チ』を合わせた『シャチ活』の愛称で愛知学院大学が展開する社会・地域とつながる活動。

名城公園キャンパスのウォーターサーバー導入について

大学後援会の助成により、名城公園キャンパスに「ウォーターサーバー」が設置されました。学生ボランティア団体「Mdi-SPOT」からの要望を受け、マイボトルの利用推進によるペットボトルごみ削減、学生の環境意識を高めることを目指し、設置後のアンケートも学生主体で実施。アンケートでは「マイボトルを使うことによるプラスチック削減に貢献できて、満足しています。」などの声が寄せられました。

学生活動奨励金の授与について

学生3名、3団体に
愛知学院大学後援会
学生活動奨励金を支給

研究・スポーツ・文化芸術活動、ボランティア活動等において優秀な活動をおこなった学生の団体・個人に支給される愛知学院大学後援会学生活動奨励金。2024年度は、3名3団体に10万円の支給が決定しました。



今 あゆみさん(経営学部経営学科2年)

学生が起業した株式会社Unikleの取締役CMO。ビジネスプランコンテストで「アイデアアカデミー〜0から1を生み出すデザイン思考がテーマの探究学習〜」のアイデアで5回入賞。

吉村 唯さん(歯学部歯学科5年)

第66回歯科基礎医学会学術大会において、「モリタ優秀発表賞学部学生部門」を受賞。研究成果を筆頭演者としてポスター発表。

山下 安悠さん(グローバル英語学科4年)

駐名古屋大韓民国総領事館主催の「2024韓日スピーチコンテスト」にて最優秀賞を受賞。交換留学の経験を活かし、一次予選を突破した21名の中から選出。

名城公園キャンパス
国際子ども支援ボランティア部

「子どもたちが子ども期を子どもらしく暮らせる社会」を目指してカンボジア(タイとの国境沿い)のチョンカル村に『希望館』を建設するなど現地訪問支援。

日進キャンパス国際協力ボランティア部

SDGsの項目の一つ「貧困をなくそう」の願いをメンバーで共有し、カンボジア北部及びラオス南部の農村地域を現地訪問支援。

MKC消防団

消防団の広報や防火防災の啓発等を専門におこなう名古屋市大学生消防団の一分団として、イベント時の応急手当指導、小学生への防災教育、SNSによる広報に取り組んだ。